



カードゲーム 「2030 SDGs」 体験ワークショップ

台風 19 号被災体験から考える SDGsの実践

～ カードゲーム「2030SDGs」で体験的に学ぶ
SDGsの本質と地域防災力向上へのひらかれた視点～

日時：2020年 **2月24日(月・祝)** 13時半～16時

会場：**佐久平交流センター**（佐久平駅 徒歩3分）

参加費：期間限定価格 社会人 **1,000 円** 学生（中学2年生以上） **500 円** 定員 20 名

SDGsとは2015年の国連の持続可能な開発サミットで採択された2030年までに持続可能でよりよい世界を創るための17の目標です。SDGsは世界中の人々に広く知られるようになり、「世界の共通言語」とまで呼ばれるようになりました。

そのSDGsにかんして、「なぜSDGsが私たちの世界に必要なのか」「SDGsがあることによって私たちの世界にどんな変化や可能性が生じるのか」を体験的に理解してもらうために開発されたのが、カードゲーム「2030SDGs」です。「2030SDGs」は各種あるSDGsゲームの中でもとっつきやすさと面白さで知らず知らずのうちに夢中になり、楽しみながらSDGsの本質を理解できると高い評価を受けたもので、これを使ってSDGsについて学ぶワークショップが全国各地で頻繁に開催されています。

そこで、この人気のカードゲームを使ってSDGsの本質を理解し、ゲームから得られた気づきを基にSDGsを「自分ごと」としてとらえ、地域防災力向上への深い学びにつなげていってもらうことを目的にワークショップを開催します。台風19号の被災体験をきっかけに防災や減災、そして復興について考えてみたいという方々はもちろん、SDGsがどんなものなのかよくわからないという方も歓迎しますので、ぜひこの機会に「世界の共通言語」であるSDGsについて学んでみましょう。

ファシリテーター紹介

ゆるくまなべ

藤澤重徳さん

（「2030SDGs」公認ファシリテーター）



申し込み 申込期限 **2月20日(木)**

信州環境カレッジ HP 地域講座

<https://shinshu-ecollege.pref.nagano.lg.jp/regional/7974/>

問い合わせ先：馬場 美穂 (ji901912@yahoo.co.jp)

協賛：佐久市市民活動サポートセンター

